

R3年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和7年 3月 3日 部会名・WG名 GH 休日支援 WG

夕方の過ごし方の課題について検討を重ねる中、GH 利用者の休日の過ごし方についても含めてその人がその人らしく暮らしているのだろうか、という課題が上がった。R5 年度よりその実態と支援者が感じている支援の課題について明確にし、よりその人らしく地域で暮らせる体制を整えられないか、と取り組んだ。

取り組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
R5 年度より継続して、GH 運営事業所へワークキンググループへの参加を依頼、休日の過ごし方についての実態を把握した。 R6 年度はより具体的に実態調査を図るため、障害別・年代別に休日の過ごし方をアンケートし、集計。利用者が得られている満足度を図るとともに、自由記載で事業所が抱える課題を集約した その結果、知的障害且つ重度、知的障害且つ高齢の方々が多い事業所の困り感が多く、中程度の知的障害、精神障害の方々が多い事業所はそれぞれに過ごされるので事業所としての困り感が少ないことが分かった。 事業所が抱える課題としては、GH における人員不足や支援者のスキル、といった課題、設備面(車両の確保)などの課題も挙げられた。GH 以外のサポート体制が整うことで、個々のニーズに応えながらその人らしい休日が過ごせるのではないかと検討。その結果、既存する長野市障害者レクリエーション活動等支援事業補助金を活用した、地域サポーター事業についての説明会を事業所向けに実施した。	☐ 施策化 ☐ WG化 ☒ 終結	ちよっただけ地域でのサポートがあればその人らしく地域の中で暮らすことができるのではないか、という視点から、地域でのレクリエーションを企画したりサポーターをマッチングさせる仕組みがあれば、活用できるのではないか、との理由から地域サポーター事業を提案した。 GH 運営事業所への事業説明を 2 月 10 日(金)に行い、R7 年度からの実施に向けて協力体制を仰いでいく。 方向性が出たので、WG は終結とする。